

令和4（2022）年度地域医療連携推進評議会の開催結果について

評議会開催日：令和4（2022）年6月23日

令和4（2022）年度地域医療連携推進評議会の開催結果

1 日時 令和4（2022）年6月23日（木）14:00～14:50

2 出席構成員 6名（うち、WEBによる参加3名）

3 結果

- (1) 資料1及び資料2により、令和3（2021）年度の業務の実施状況等及び日光ヘルスケアネット医療機能分担・業務連携計画の令和3年度の進捗状況に係る評価案について説明したところ、異議なく了承された。
- (2) 議事終了後、意見交換を行い、別紙のとおり意見や質疑が出された。

別紙 意見交換の概要

意見又は質疑の概要	質疑等に対する回答
<p>【運営全般】</p> <p>○日光ヘルスケアネットでは、関係者の協力により、連携が推進されており、大変意義深い。連携を図る、医療分業を図る、将来構想に基づいて地域の医療を進めることは、どの地域でもやらなくてはならない。</p> <p>日光ヘルスケアネットは、県内唯一の地域医療連携推進法人であり、法人の枠組みを使ってオープンでオフィシャルな形で推進できるメリットがある。また、法人を組まないといけない取組もあるので、今後も関係者の方々と緊密に連携を取りながら進めていただければと思う。</p> <p>○地方では人口減少に伴う患者数の減少、医療関係者の確保の問題があり、地域医療の体制が変わってくるのは致し方ないことだが、それに沿った形で地域内での話し合いが大切になると思う。</p> <p>当院のある市では具体的な動きはないが、日光ヘルスケアネットを参考にさせてもらい、対策をしたい。</p>	<p>○日光市では、特に人口減少が著しく、病院経営上の問題もあって、将来的に地域の医療を守っていくために、「病床の適切な医療機能の転換」等も含めて、連携を図っていく。</p>

意見又は質疑の概要	質疑等に対する回答
<p>【医療提供体制】</p> <p>○病床機能転換などの医療機能分担については、本来なかなか進まないものであるが、日光ヘルスケアネットの中で予め情報共有しながら、地域全体の医療・介護のニーズを把握でき、合意を得ながらスピーディに、お互いが合理的な形で分担が進んだのは大きい成果である。</p> <p>二次救急の輪番制で、コロナ対応の際は迅速に当番を変更してもらったり、専門の職員派遣規定を作ったことで、専門の医師の派遣を行えるようになったり、日光ヘルスケアネットの情報共有が活かされ、仕組みが役立っている。</p> <p>○介護医療院に転換する流れがあるようだが、急性期医療はどうなるのか不安である。介護医療院は要介護認定を受けないと入所できないらしいが、要支援の人達へのサービスに影響は出ないのか。</p> <p>また、急性期病床が減ることはないのか。</p>	<p>○介護医療院は、高度な医療と介護を必要とする方の受け皿で、一時的な滞在というよりは生活のための施設であるが、急変時の医療対応までは難しく、従来通り急性期を担う医療機関で対応することになると思われる。</p> <p>一般には、急性期病床を縮小して介護医療院に転換するのではなく、療養病床を介護医療院に転換する。</p>

意見又は質疑の概要

〇がん患者は身体的・精神的な悩みを抱えている方が多い。悩みを吐き出す、心を緩和する交流の場があってもいいのではと考える。

質疑等に対する回答

〇メンタルケアも含めて、同じ悩みを抱えている方の心の問題にどのように対応するかは、非常に大切なことである。今後、行政の立場からも検討を試みたい。